

答 これまで墓地造成等に関する問い合わせや要望等は皆無であり、町としては霊園や墓地の造成に取り組み考えはありません。

③町の広報について

問 町のホームページには新着情報はあるが、更新情報や追加情報がなく、どこがどう変わったのかわかりにくい。ため改善すべきではないか。また、目的のページを簡単に探せるよう、「お知らせ版」等にQRコードを載せるなど、もっと見やすく使いやすいように改善する予定はないか。

答 今後、ページの新設や定期的な更新以外の大幅な変更については、どこがどう変わったかをできるだけ掲載し、随時お知らせしたいと考えています。

QRコードについては、現在も「広報なかやま」や「お知らせ版」で採用していますが、今後も紙面や他の記事とのバランスを考えながら積極的に活用し、見やすく、使いやすいよう改善していきます。



スマートフォンやタブレット端末からQRコードを読み取ることで、町ホームページの最新情報を確認できます。また、スマートフォンやタブレット端末からQRコードを読み取ることで、町ホームページの最新情報を確認できます。

堀川 政美 議員



①今冬の除排雪対策について

問 毎年確実に降る雪との戦いは、避けては通れない難問であるが、今年も大雪が予想される中、今冬の除排雪対策について伺いたい。まず、当町における過去2年間の建物や果樹等の被害状況と、その対応はどうされたのか。

答 平成23年度は豪雪対策本部を設置し、全戸配布のチラシ等で注意喚起を行いました。住家の一部損壊7棟や非住家の全壊等11棟、農業関係ではビニールハウスの倒壊9棟や、りんご、すもも、さくらんぼの樹体被害が約23haで発生しました。

平成24年度は、一部の園地で果樹の枝折れの被害が発生しました。町としては、県の事業を活用し、ハウスの復旧、被害木の更新のための苗木購入の助成や、町単独事業による園地のための融雪剤購入の助成を行いました。

問 先般、今年度の除雪計画が示されたが、官民協働による除排雪など、きめ細かな対応は考えているか。官民協働一斉除排雪等を実施し、効果を上げています。

答 先般、今年度の除雪計画が示されたが、官民協働による除排雪など、きめ細かな対応は考えているか。官民協働一斉除排雪等を実施し、効果を上げています。

問 対策について伺いたい。(1)体罰防止の動きにより、いじめを発見しても教職員が生徒に対して指導しにくくなっていないか。(2)問題があった場合の連絡網は。(3)いじめ防止対策におけるPTA Aとの関わりをどう考えているか。(4)町の教育相談員による相談の状況は。

答 (1)いじめの大小に限らず、情報を得た場合には「いじめは絶対に許さない」という毅然とした姿勢を全職員で持つことを確認しています。

(2)体罰問題と同様、常に管理職に情報が集まる報告・連絡・指導体制を確認することが大切です。(3)各学校に設置を義務付けられたいじめ対策の組織にPTA代表の方にも入ってもらい、PTAの役員会や総会につなげていくことになり。

(4)現在、継続中のものも含め5件の相談を抱えており、母親自身の悩みや子育ての問題が多いようです。

西塔こへん 議員



①コメ政策転換について

施し、効果を上げています。市や町も見受けられる。**答** 町の除雪機械が進入できない路線を、沿線の方が所有する小型機械で除雪していただいている一部の地区や、凍結防止剤を地区役員の方々から散布していただいている官民協働の事例等があります。また、町内会やボランティア団体等に除雪機械を貸し出す制度を、今年度新たに設けました。

住民の要望に応えるためには、協働の新たな体制・制度を検討していく必要があります。新たな提案があれば前向きに検討したいと考えています。

②西山地区の熊被害防止対策について

問 当町西山地区における熊出没に関する現状の確認と、その対策を伺いたい。

また、熊をおびき寄せないための、家庭ごみ・果実の放置等に対する注意喚起や、熊が出没したときの臨時お知らせ版発行など、その他の策も含め実施すべきと考えているかどうか。

答 近年の状況として、熊らしき動物の目撃情報等があった際には、県・警察・猟友会など関係機関と

問 11月26日の「農林水産業地域の活力創造本部」において、「減反廃止、補助金は5年後に全廃する」ということが正式に決定した。主食のコメを自由競争にするなどということとは、農家の実状を全く知らない人が決め、農地を守り国土保全してきた農業の役割の大きさを少しも見ていないと思うと情けない。

答 政府は、日本の農業力向上を促進し国際競争力を高めるため、平成30年度を目途に、行政の米生産数量目標配分に頼らずとも円滑に需要に応じた生産が行えるよう、行政・生産者団体・現場が一体となって取り組むという方針を決定しました。しかし、現時点では国の農政施策の指針が示されておらず、県の指針も定められていないことから、現段階では町がお答えできる状況にはありません。

また、農業の考え方については、人が生きていくうえで必要な食糧を生産する人間生活の根幹となる産業であるとともに、国土保全

連携を密にしながら、現場確認や情報収集、注意喚起の表示設置等の対応をしましたが、熊であると断定できませんでした。

熊が出没した際には、これまで同様、臨時お知らせ版やチラシ、周辺地区への広報車による巡回、各所への看板設置など、あらゆる広報手段を使い、迅速な注意喚起・情報提供を行いたいと考えています。

鎌上 徹 議員



①小中学校での体罰問題対策について

問 県を中心に、体罰等の根絶と児童生徒理解に基づく指導のガイドラインが作られ、県内各スポーツ団体でもスローガンを掲げ体罰根絶を図るうとしていますが、町における対策について伺いたい。

(1)体罰防止対策として、町で実行されていることは。(2)新学習指導要領により、先生が会議や研修会等に対応できているか。

(3)ガイドラインから外れた体罰があった場合の連絡体制は。(4)教職員以外のスポーツに関わ

や景観維持等の多面的機能を有する産業であると認識しています。**②石子沢川堤防の崩れの補修を** 石子沢川は、地域住民に守られて水も美しく、沢山の水生動物が生息しており、その環境を守りたいと思っている。

その川を見ると、先人が積んだ切り石が堤防の役割を果たしているが、所々崩れており、予期せぬ大雨等があれば、切り石が流れ堤防が決壊し、大災害が発生することも考えられる。

一級河川であり、町ですぐ改修というわけにはいかないが、今後の計画等があるか伺いたい。

答 県管理区間のJR左沢線から上流部については、平成22年度から平成24年度までに柳沢集落内の護岸工事が実施されました。

それ以外の区間については、一部災害復旧工事等でブロック積みをしている部分はあるものの、ご指摘のとおり堤防法尻の洗掘や護岸の老朽化が見られることから、本年度も中山町重要事業として、石子沢川の総合的な調査と計画的な整備を引き続き県へ要望しているところ。